

平成28年度 児童虐待防止推進月間標語

『さしのべて あなたのその手 いちはやく』

児童虐待を防ぐためには、地域の皆さんの深い関心と理解そして協力が必要です。

問/こども未来課 ☎463-0364

全国では、児童虐待対応件数が平成27年度に10万件を超え、これまでで最大の件数となっています。そして、年間約90人（心中を含む）余りの子どもたちが虐待によって命を失っているのが現状です。

朝霞市でも、毎年重篤な児童虐待（DV含む）が発生しています。虐待は、子どもが死に至ることもあり、心身の発達や人格の形成にも重大な影響を与えます。

平成27年度朝霞市通告児童数

身体的虐待：	65人（34件）
心理的虐待：	126人（72件）
性的虐待：	3人（2件）
ネグレクト（育児怠慢）：	47人（24件）

<子どもを虐待から守るための5か条>

- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡（通告してください）
- ②「しつけのつもり…」は言い訳（子どもの立場に立って判断しましょう）
- ③ひとりで抱え込まない（あなたにできることから即実行しましょう）
- ④親の立場より子どもの立場（子どもの命を最優先しましょう）
- ⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる（特別なことではありません）

○通告・相談先

児童虐待かな…と思ったら児童相談所全国共通ダイヤル



189（いちはやく）

\*最寄りの児童相談所へつながります。

月～金曜日 午前8時30分～午後6時15分

上記時間外は「休日夜間児童虐待通報ダイヤル（☎048-779-1154）」へ

◎通告者や相談者の秘密は守られます。また、匿名でも構いません。通告の結果、虐待でなくても罰せられることはありません。

児童虐待の要因・背景

- 地域からの孤立：子育ての相談相手がいない・知り合いがいないなど
- 家庭内ストレス：パートナーとの関係がうまくいかない・経済的不安など
- 子どもとの関係：育てにくい子ども・相性が合わないなど
- 養育者の問題：子どもをかわいく思えない・虐待されて育ったなど

\*これらは、ごく一部の要因や背景です。虐待は決して特別な人だけに起きる問題ではありません。虐待が発生してしまう前に、どこか相談先や話せる人、場があったら子どもも保護者も家族も助かるかもしれません。地域資源を有効に利用し、子も保護者もともに育っていきましょう。

○児童虐待通告・相談先

名称	電話番号	名称	電話番号
所沢児童相談所	04-2992-4152	休日夜間児童虐待通報ダイヤル	048-779-1154
こども未来課	048-463-0364	朝霞警察署	048-465-0110（緊急時110番）

○育児などに関する相談先

名称	電話番号	子育て支援センター名称	電話番号
家庭児童相談室（こども未来課）	048-463-2231	さくら（さくら保育園内）	048-469-7065
保健センター（健康づくり課）	048-465-8611	きたはら（きたはら児童館内）	048-476-8686
子ども相談室（教育指導課）	048-471-8080	ときわ（大山保育園内）	090-2769-6737
子どもスマイルネット（埼玉県電話相談窓口）	048-822-7007	くれよん（朝霞しらこぼと保育園内）	048-456-1101
		めだか（滝の根保育園内）	048-464-1255
		ステップ（さわらび保育園内）	048-461-5200
		ちきんえっぐ（朝霞どろんこ保育園内）	048-474-6137
		さくらんぼ（仲町保育園内）	048-450-7708
		おもちゃ図書館なかよしぱあく	048-474-7316

\*虐待は、児童虐待の他に、障害者虐待・高齢者虐待・施設内虐待・DVなどがあり、いずれも人権侵害に当たります。